

行 第 6 5 号
令和 8 年 6 月 10 日

浜田市議会議長 澁 谷 幹 雄 様

浜田市長 三 浦 大 紀
(行財政改革推進課)

議会による事務事業評価の対象事業について（回答）

令和 8 年 4 月 1 日付議第 1 号で通知のあったこのことについて、別紙のとおり提出します。

記

1 提出資料

事務事業評価シート（浜田市作成分）～令和 7 年度実施事業」～

以上

事務事業評価シート
（浜田市作成分）
～令和 7 年度実施事業～

令和 8 年 6 月

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和7年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担当課 係		まちづくり社会教育課	まちづくり推進係
事務事業名	協働推進事業（地域支え合い生活支援事業補助金）		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	大綱	VII協働による持続可能なまち	款	02	総務費	
	施策大綱	VII-1 地域コミュニティの形成	項	01	総務管理費	
	基本目標	4 地域の特性を活かした安心して暮らせるはまづくりの推進	目	07	企画費	
	主要施策	VII-1-2 活動支援の充実	事業	72	協働推進事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	各地域のボランティア団体、シルバー人材センター等を活用し、高齢者の生活支援を行おうとする地区まちづくり推進委員会に対し、その事業に要する費用の一部を補助することにより、中山間地域においても安心して住み続けることができる環境を整備することを目的とする。	事業の内容	【補助対象】 地区まちづくり推進委員会 【補助対象事業】 生活支援サービス（軽作業） 【補助対象経費】 利用者負担額又は利用者負担基準額（1,000円/作業員1人当たり1時間）いずれか大きい額を差し引いた作業費用及び作業用消耗品費 【補助額】 10/10 上限300千円
市民ニーズの把握状況	・地区まちづくり推進委員会の連絡会議での説明やすでにボランティア団体を有する地区まちづくり推進委員会と個別に協議を行った。 ・地域からの要望により令和7年度から上限額を150千円から300千円に拡充した。	市民参加・協働の有無 その内容	この補助金を通じ、草刈ボランティア団体の立ち上げがあった。

■事務事業の業績・推移（DO）

設定した目標				目標/実績	目標/実績	目標	目標	
				R6	R7	R8	R9	
目標と実績	地域支え合い生活支援事業補助金申請団体の増加 (令和6年度～令和7年度累計17団体)		目標	7団体	10団体	10団体	10団体	
	設定した理由・背景 地域支え合い生活支援事業補助金の活用によるボランティア団体の育成及び活動支援を促し、地域内における共助体制の構築の一助とする。また、新たなボランティア団体の設立の促進を図る。		実績	3団体	7団体			
			R6年度決算		R7年度最終予算		R8年度予算	市民1人当たりのコスト
事業費	総事業費		255,880	1,650,000	1,800,000	R6	5	
	財源内訳	国県支出金				R7	34	
		地方債				各年度4月1日時点の人口		
		利用者負担・その他	255,880	1,650,000	1,800,000	R6	49,096	
		一般財源				R7	48,048	

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	中山間地域において高齢者世帯の困りごとである草刈り作業への活用が実績として多く、それを地域の課題として取り組む団体が増えてきた。 また、この事業を活用するための団体が立ち上がるなど地域内の共助体制も構築されてきていることから、引き続き事業の活用事例や取組への案内を行っていく必要がある。
--------------------	--

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和8年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	地域のボランティア団体も高齢化しており、希望があっても対応しきれない地域もある。自分の地域だけでは賄えないところについては、事業者や他地域の有償ボランティア団体の活用など他地域との協働や事業者との協働を行うことも考えられる。 また、高齢者世帯だけではなく、障がいのある方からの要望もあったことから、対象者の範囲についても今後検討していく必要がある。
---------------------------	---

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和7年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担当課 係		地域福祉課	地域福祉係
事務事業名	社会福祉協議会助成事業		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	大綱	Ⅱ健康でいきいきと暮らせるまち	款	03	民生費	
	施策大綱	Ⅱ-6 地域福祉の推進	項	01	社会福祉費	
	基本目標	4 地域の特性を活かした安心して暮らせるまちづくりの推進	目	01	社会福祉総務費	
	主要施策	Ⅱ-6-1 地域の支え合い活動の推進と支援	事業	171	社会福祉協議会助成事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	社会福祉法人浜田市社会福祉協議会に補助金を交付することにより、社会福祉事業の能率的運営及び組織的活動を促進し、並びに地域福祉の増進及び強化を図ることを目的とする。	事業の内容	社会福祉法人浜田市社会福祉協議会に対し、事務局長・事務局職員等の設置に必要な経費、市長が特に必要と認める経費を補助する。
市民ニーズの把握状況	浜田市地域福祉計画の策定に合わせ、福祉活動に対する市民ニーズについての住民アンケート調査を実施している。	市民参加・協働の有無 その内容	社会福祉法人浜田市社会福祉協議会は、地域住民、民生委員・児童委員、社会福祉施設、ボランティア及び市民活動団体や福祉サービスを提供する事業者など地域のあらゆる団体・組織の相互理解と協働によって住民参画型のまちづくりを推進している。

■事務事業の業績・推移（DO）

目標と実績	設定した目標				目標/実績	目標/実績	目標	目標
					R6	R7	R8	R9
	社会福祉法人浜田市社会福祉協議会に各世帯から納入される一般会費の収納額 (1世帯 年額800円 R8～年額1,000円で目標設定)			目標	13,834千円	14,004千円	17,690千円	17,871千円
	設定した理由・背景							
市が直接管理できる数値ではないが、社会福祉法人浜田市社会福祉協議会に対する地域住民の参加・協力の意識を計ることができる指標として一般会費の収納額を設定した。			実績	12,565千円	12,092千円			
				R6年度決算	R7年度最終予算	R8年度予算	市民1人当たりのコスト	
事業費	総事業費			95,318,000	101,821,000	124,169,000	R6	1,941
	財源内訳	国県支出金					R7	2,119
		地方債					各年度4月1日時点の人口	
		利用者負担・その他					R6	49,096
		一般財源		95,318,000	101,821,000	124,169,000	R7	48,048

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	社会福祉法人浜田市社会福祉協議会は、地域福祉を推進するための団体であり、公益性が高く収益性が見込めない社会福祉に関する業務を広く行っている。このため、法人経営に必要な事務局職員の人件費を補助する本事業は、地域の福祉力を高め、お互いに支えあい、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていくことができるよう地域福祉の推進を図るうえで非常に重要である。
--------------------	--

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和8年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	令和8年度当初予算は、人件費補助の拡充により前年度と比較して22,348千円の増額としたが、補助の妥当性及び事業効果を明確にするよう附帯決議が付された。 このため、 (1) 人件費補助の積算根拠及び事業効果の明確化 (2) 事業別コスト構造及び人件費構成の透明化 (3) 事業の整理・統合など効率的な事業運営に向けた見直しに取組む。
---------------------------	--

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和7年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担 当 課 係		水産振興課 水産係
事務事業名	「山陰浜田港」水産物ブランド化推進事業		事業予算費目		
総合計画上の位置付け	大綱	I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち	款	06	農林水産業
	施策大綱	I-1 水産業の振興	項	03	水産業費
	基本目標	1 産業振興と企業立地による雇用の創出	目	02	水産業振興費
	主要施策	I-1-4 販路拡大対策	事業	421	「山陰浜田港」水産物ブランド化推進事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	「浜田港四季のお魚」や「どんちっち」などの水産ブランド化の取組を推進することにより、県内随一の漁港である「山陰浜田港」のPRを行う。また、はまだお魚市場のイベントテントを中心に、周辺エリアを巻き込んだ賑わい創出イベントを開催し、「山陰浜田港」で漁獲される水産物について、消費者へ情報発信を行うことで購買意欲を高め、漁獲物の全体的な魚価向上へ繋げる。	事業の内容	・どんちっちブランド推進事業補助金 ・「山陰浜田港」PR補助金 ・どんちっちノドグロ学校給食事業補助金 ・「山陰浜田港」活性化補助金
市民ニーズの把握状況	関連団体等を通じて、「どんちっち」及び「浜田港四季のお魚」等に関する市民ニーズの把握を行った。	市民参加・協働の有無 その内容	どんちっちノドグロ学校給食の提供に併せて、市内小中学校等で出前授業を実施した。（9校：367人） 山陰浜田港の水産物についての理解を深め、購買意欲等を高めるために実施した「お魚検定」では、48名が受検した。 浜田漁港周辺エリアでは、「どんちっちアジ祭り」といった市民協働によるイベントも開催。

■事務事業の業績・推移（DO）

目標と実績			設定した目標			目標/実績	目標/実績	目標	目標	
						R6	R7	R8	R9	
			・新規「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加		目標	年間5店増 累計：17店舗	年間5店増 累計：22店舗	年間5店増 累計：27店舗	年間5店増 累計：32店舗	
			設定した理由・背景			実績	2店増 累計：6店舗	3店増 累計：9店舗		
			水産物ブランドの「どんちっち」の認証制度を活用し、品質管理の徹底、官民が一体となったPR活動等を展開し、ブランドの更なる普及と付加価値向上に取り組む。							
			R6年度決算		R7年度最終予算		R8年度予算		市民1人当たりのコスト	
事業費	総事業費		4,176,632		5,113,000		7,093,000		R6	85
	財源内訳	国県支出金							R7	106
		地方債							各年度4月1日時点の人口	
		利用者負担・その他	649,827		760,000		935,000		R6	49,096
		一般財源	3,526,805		4,353,000		6,158,000		R7	48,048

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	個別に事業所を訪問し、丁寧に制度の説明等を行う中で新規加盟業者の獲得に努めたものの、目標値の達成には至っていない。 近年は「どんちっち」三魚の漁獲量減少により安定供給が難しくなったことや、「どんちっち」ブランド加盟業者の高齢化、後継者不足などの理由により廃業する事業者も増えており、全体の加盟業者数自体も減少傾向に陥っている状況となっている。
--------------------	--

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和8年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	新規「どんちっち」ブランドの加盟業者を増やすため、今後は浜田市内にとどまらず、市外でのPR活動も強化し、ブランドの普及と付加価値の向上に取り組んでいく。 また、「浜田港四季のお魚」については、魚種の更新等に伴う新たなPR資材の活用やお魚検定などといった各種取組を連動させることで、市内外での一層の認知度向上と購買意欲の喚起に繋げていく。 この他、令和8年度においては、豊洲市場関係者を本市に招き、水揚げの視察や地元漁業者との意見交換を行うことで、東京圏域におけるブランド等の一層のPRや継続的な取引拡大を図っていく。 なお、販路拡大には、庁内関係部署や関係機関等との連携も不可欠であるため、適切に情報共有等を行いながら、一体的に事業を進めていく必要がある点に留意し、取り組んでいく。
---------------------------	--

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和7年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担当課 係		観光交流課	観光企画係
事務事業名	観光協会助成事業		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	大綱	I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち	款	07	商工費	
	施策大綱	I-5 観光・交流の推進	項	01	商工費	
	基本目標	1 産業振興と企業立地による雇用の創出	目	03	観光費	
	主要施策	I-5-1 滞在型観光の推進と受入体制の確保	事業	459	観光協会助成事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	浜田市の歴史・文化や産業・伝統など観光資源の開発、宣伝及び観光客の誘致促進に努めるとともに地域経済の振興及び文化の向上に寄与することを目的に運営に要する事務費及び事業費を補助する。	事業の内容	・観光客の誘致、受入、宣伝等事業の補助（浜っ子春・夏祭り、大平桜まつり、WEBや観光パンフレット等による情報発信、国府海水浴場監視等） ・観光協会の本部職員の人件費を含む運営経費を補助
市民ニーズの把握状況	観光案内所での問合せやイベントでもアンケート調査を実施して把握している。	市民参加・協働の有無 その内容	各種イベントの企画・運営に市民の方も参加して実施している。

■事務事業の業績・推移（DO）

目標と実績		設定した目標			目標/実績	目標/実績	目標	目標
					R6	R7	R8	R9
		・観光入込客数の増加（以下「観光」） ・宿泊者数の増加（以下「宿泊」） ※期間は1月～12月		目標	【観光】 1,702,000人 【宿泊】 223,000人	【観光】 1,750,000人 【宿泊】 230,000人	【観光】 1,803,000人 【宿泊】 237,000人	【観光】 1,803,000人 【宿泊】 237,000人
		設定した理由・背景			実績	【観光】 1,503,121人 【宿泊】 291,333人	【観光】 1,509,702人 【宿泊】 267,155人	
観光入込客数、宿泊者数を把握することで、観光客の滞在状況を把握し、事業実施方法を検討する。 ただし、上記数値は本事業のみではなく他事業の効果も含めている。								
				R6年度決算	R7年度最終予算	R8年度予算	市民1人当たりのコスト	
事業費	総事業費		36,040,000	37,685,659	40,743,000	R6	734	
	財源内訳	国県支出金				R7	784	
		地方債				各年度4月1日時点の人口		
		利用者負担・その他		337,150		R6	49,096	
		一般財源	36,040,000	37,348,509	40,743,000	R7	48,048	

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	補助対象事業者である観光協会において浜田市の魅力発信や誘客促進に向けた事業を次のとおり実施した。 観光客誘致促進事業では、浜っ子夏祭りが雨天のため一部催しが中止となったため来場者が少なかったが、2025大阪・関西万博での公演を契機に石見神楽魅力発信事業など石見神楽を核とした事業を実施し、神楽公演への誘客を図った。また、観光連携・宣伝事業では、SNSによる情報発信を行い、市内で開催されるイベントを積極的に周知し誘客に努めた。観光客受入整備事業では、猛暑により海水浴客は減少したが、国府海水浴場の監視事業を行い利用者の安全確保に寄与した。 助成事業の実績については、宿泊者数は目標を達成し「滞在型観光の推進」に一定の効果があったと考える。一方、観光入込客数は目標を下回っており、誘客に向けた取り組みについて検討する必要がある。
--------------------	---

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和8年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	より効率的かつ効果的な誘客促進に向け、観光協会の業務内容を見直し、業務の集約化を図り、市と観光協会の一体的な推進体制の構築に取り組む。令和8年度は観光協会の業務及び事業について調査し、一体的な推進体制の方向性について検討を進める。
---------------------------	---